2027年3月期 第2四半期

決算補足説明資料

業績概要と中間期の取り組み進捗

2026年11月13日　代表取締役社長　塩田 徹

SD エンターテイメント株式会社

東京証券取引所 スタンダード市場　証券コード 4650

RIZAP GROUP

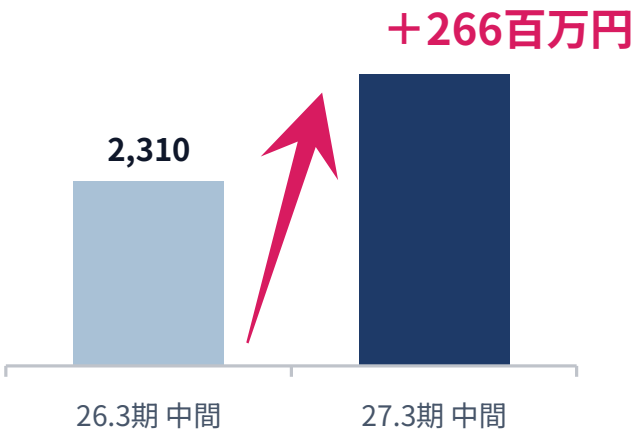
上期決算ハイライト

SD エンターテイメント株式会社

上期は増収増益、経常利益は中間期として８期ぶりの黒字

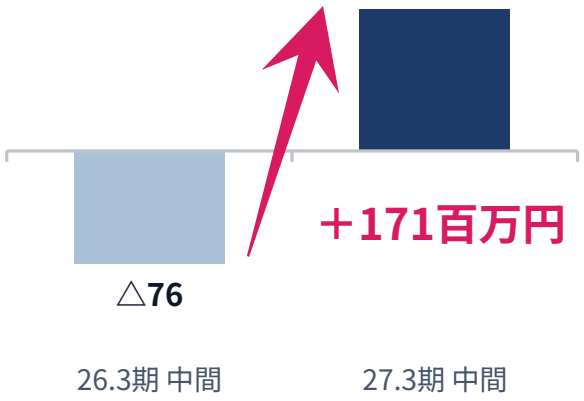
01 売上増加（前期比＋11.5%）

2,576 百万円



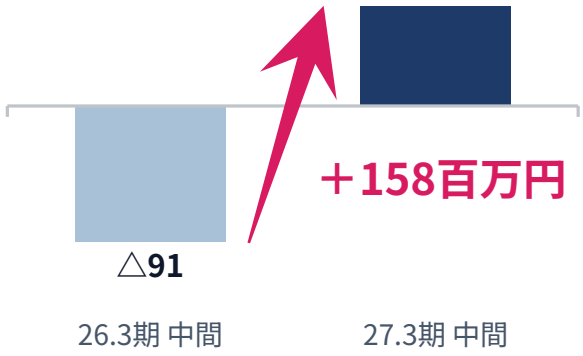
02 営業黒字に転換

95 百万円



03 経常黒字に転換（8期ぶり）

67 百万円



© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

SD エンターテイメント株式会社

アジェンダ

01	**会社概要**	事業構造の転換、ビジネスモデル
02	**上期決算概要**	損益計算書、前年同期比較、財政状態、キャッシュ・フロー
03	**セグメント別概況**	保育、就労支援、フィットネス、その他の事業
04	**通期業績見通しと重点施策**	通期予想に対する進捗、下期の計画、株主還元

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

SD エンターテイメント株式会社

SECTION 01 会社概要

01 **会社概要**

02 上期決算概要

03 セグメント別概況

04 通期業績見通しと重点施策

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

ビジネスモデル

SD エンターテイメント株式会社

社会課題解決型事業とフィットネス事業で構成

社会課題解決型事業

保育事業（31園）

企業主導型保育所 カメリアキッズ Camellia Kids

ディノスキッズ

認可保育所 たいせつ保育園

事業の特徴

企業主導型保育。
国・自治体の運営費補助金が基盤

収益モデル

補助金＋保育料（高いストック性）

就労支援事業（全国29拠点）

リバイブ

事業の特徴

公費（訓練等給付費）が売上高の約9割

収益モデル

利用日数×給付単価（ストック型）

フィットネス事業

フィットネス事業（集中と選択）

SD fitness

STUDIO STAR

STAR*Pilates

事業の特徴

大型総合ジムを絞り込み、
小型・高単価のピラティスに集中

収益モデル

会員数×月会費（ストック型）

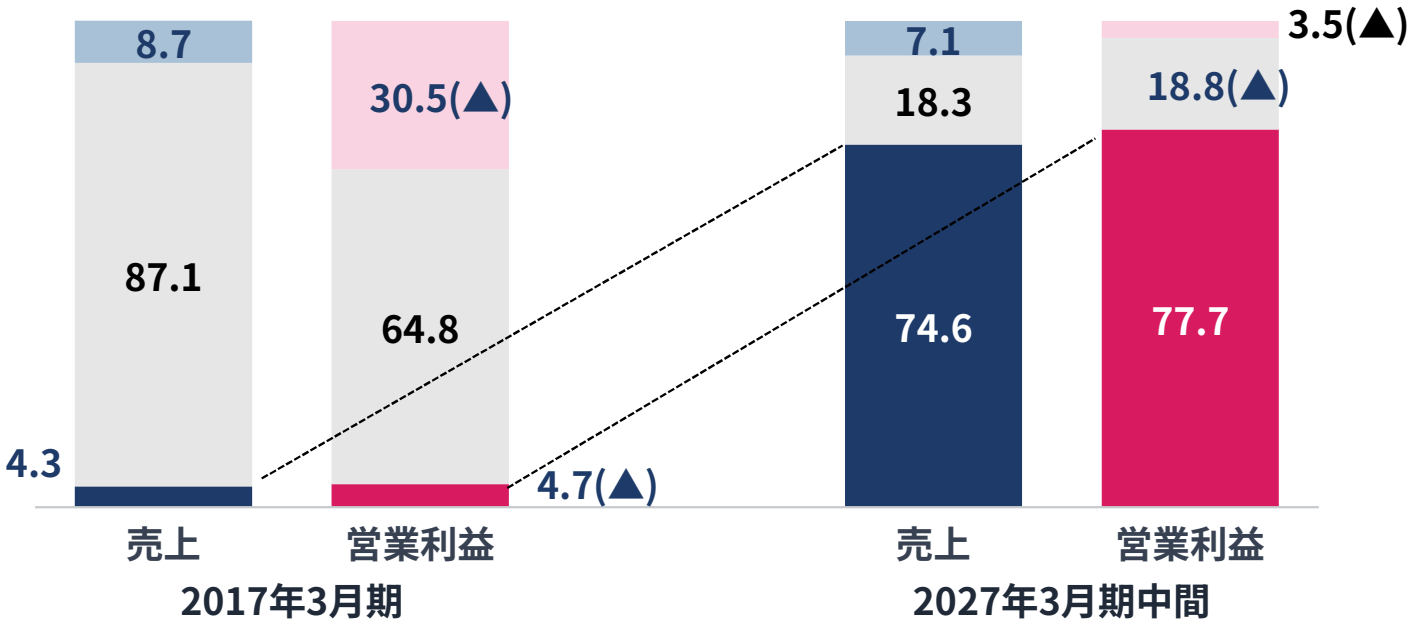
© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

事業構造の転換

SD エンターテイメント株式会社

社会課題解決型への大胆な事業転換により、利益創出体質へ移行

売上構成比と営業利益構成比　※（▲）は営業損失（赤字）の区分。　（単位：%）



売上｜営業利益

社会課題解決型
保育・就労支援・介護

フィットネス・旧エンタメ
フィットネス・ｵﾝﾗｲﾝｸﾚｰﾝｹﾞｰﾑ・
旧エンタメ（GAME他）

その他
不動産賃貸他

Phase 1（2017～2020）	Phase 2（2021～2024）	Phase 3（2025～現在）
映画・ゲーム事業の売却と 保育事業の本格化	店舗の整理と 就労支援「リバイブ」の開始	構造改革の成果： 営業黒字体質への転換

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

SECTION 02 上期決算概要

01
会社概要

02
上期決算概要

03
セグメント別概況

04
通期業績見通しと重点施策

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

損益計算書

SD エンターテイメント株式会社

P／L

売上総利益 +291百万円、販売費及び一般管理費 +121百万円

売上高は前年同期比11.5%増、営業利益は95百万円で黒字転換

項目（百万円）	2026年3月期 中間	2027年3月期 中間	増減額	増減率
売上高	2,310	2,576	+266	+11.5%
売上原価	186	161	△25	△13.4%
売上総利益	2,123	2,415	+291	+13.7%
販売費及び一般管理費	2,199	2,319	+120	+5.5%
営業利益（△は損失）	△76	95	+171	黒字転換
経常利益（△は損失）	△91	67	+158	黒字転換
親会社株主に帰属する中間純利益（△は損失）	△66	△17	+48	損失縮小

上期の特別損益

特別損失 50.7百万円（減損損失 36.5百万円、店舗閉鎖損失 9.9百万円 等）
特別利益 6.8百万円（補助金収入 6.7百万円 等 ※前年同期：19.7百万円）

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

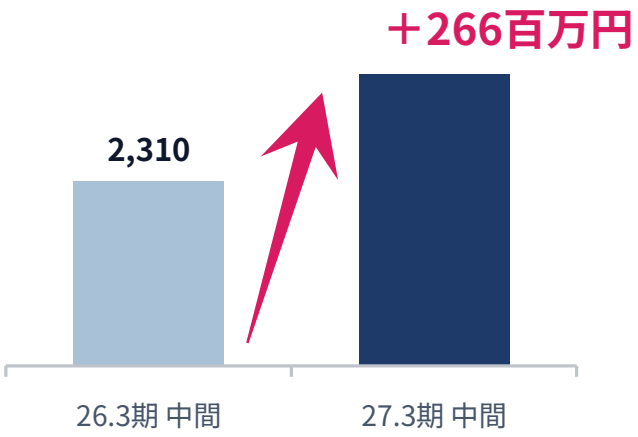
前年同期比較

SD エンターテイメント株式会社

売上高・営業利益・経常利益のいずれも前年同期を上回る

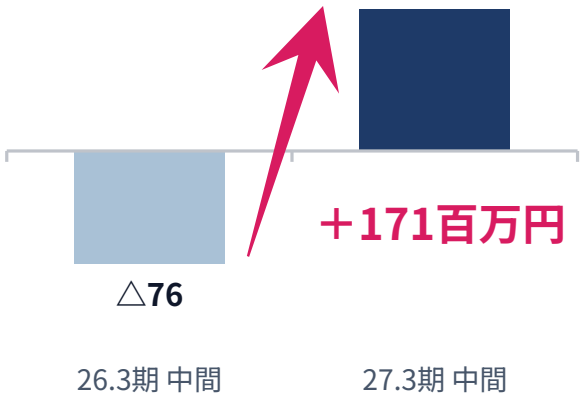
01 売上増加（前期比＋11.5%）

2,576 百万円



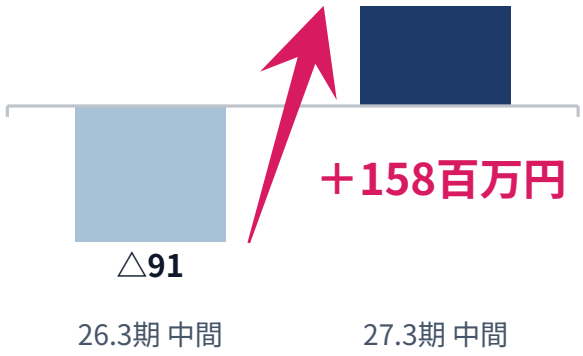
02 黒字転換（営業利益率3.7%）

95 百万円



03 経常黒字に転換（8期ぶり）

67 百万円



© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

財政状態

SD エンターテイメント株式会社

B／S

有利子負債の返済が進捗

自己資本比率は39.5%（前期末比 +1.1pt）

資産（百万円）	26.3期末	27.3期中間	増減
流動資産	**1,795**	**1,770**	**△25**
現金及び預金	1,025	**1,273**	+248
売掛金	387	**297**	△89
その他流動資産	383	**199**	△183
固定資産	**2,897**	**2,749**	**△148**
有形固定資産	2,434	**2,303**	△130
無形固定資産	86	**79**	△6
投資その他の資産	376	**365**	△11
資産合計	**4,693**	**4,520**	**△173**

負債・純資産（百万円）	26.3期末	27.3期中間	増減
流動負債	**2,080**	**2,047**	**△32**
買掛金	143	**101**	△42
短期借入金等※	1,395	**1,386**	△9
固定負債	**810**	**686**	**△124**
長期借入金	596	**494**	△101
負債合計	**2,891**	**2,734**	**△156**
純資産合計	**1,802**	**1,785**	**△17**
自己資本比率	**38.4%**	**39.5%**	**+1.1pt**

※短期借入金等は、1年内返済予定の長期借入金を含みます。

現預金

1,273 百万円

前期末比 +248百万円

負債合計

2,734 百万円

前期末比 △156百万円

自己資本比率

39.5 %

前期末比 +1.1pt

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

SECTION 03 セグメント別概況

01
会社概要

02
上期決算概要

03
セグメント別概況

04
通期業績見通しと重点施策

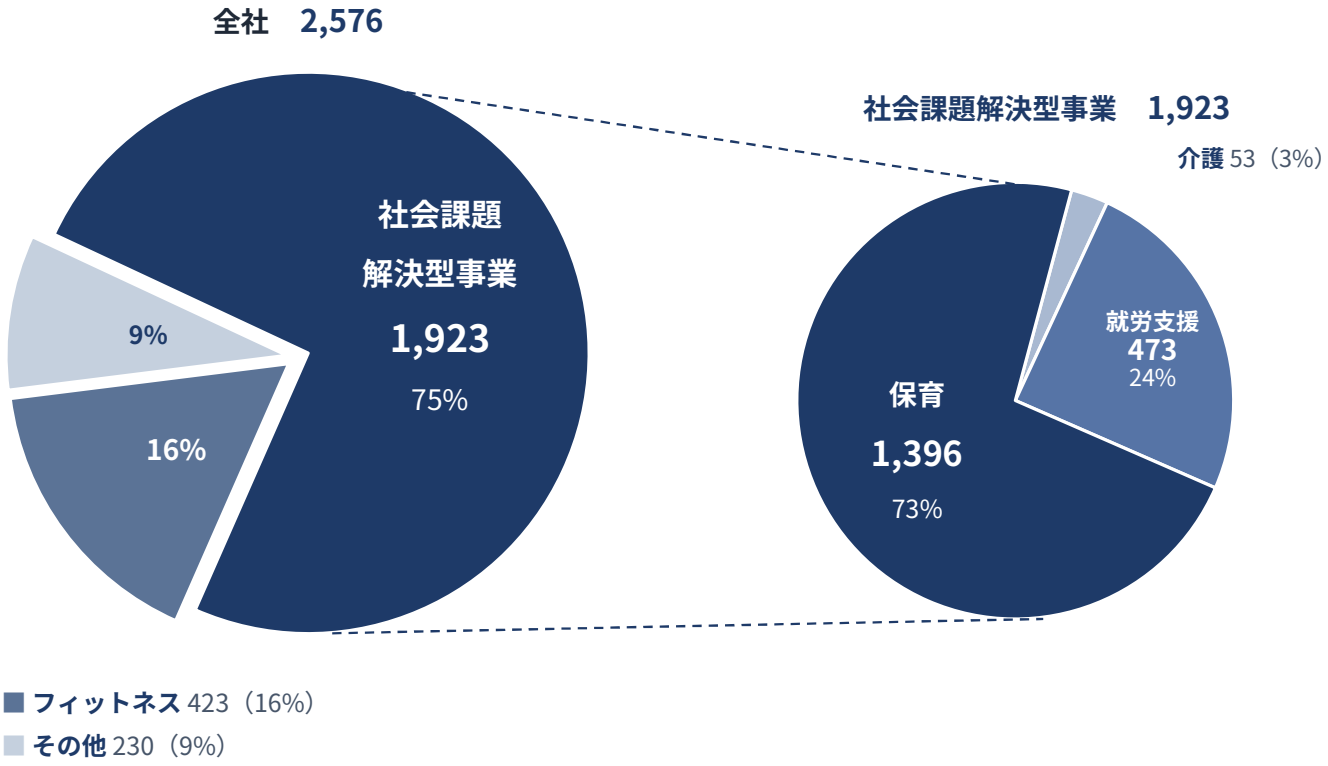
© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

売上高の事業構成

SD エンターテイメント株式会社

社会課題解決型事業中心のビジネス

売上高の構成　27.3期 中間（百万円）



売上高の

75%

が社会課題解決型事業

保育・就労支援・介護の3事業で1,923百万円。国・自治体の給付費や補助金を基盤とする安定収益。

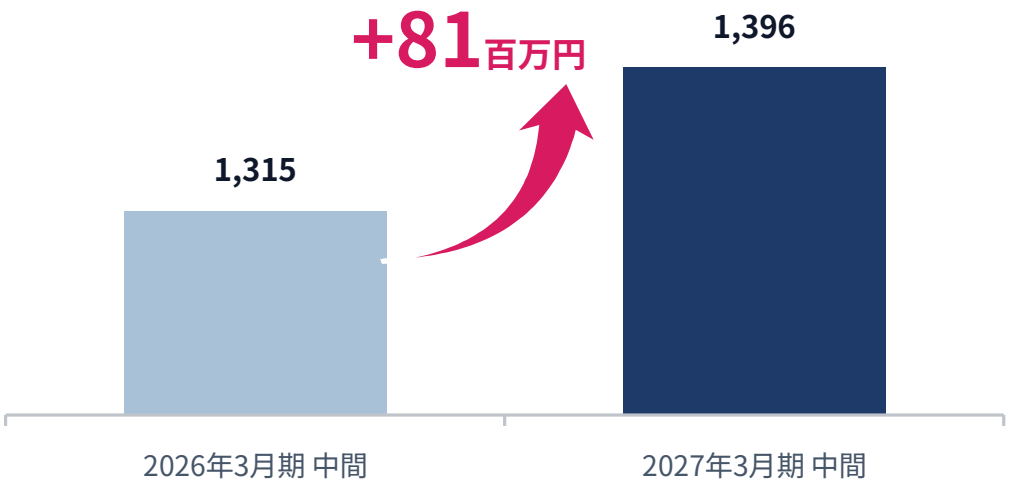
© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

社会課題解決型事業：保育

SD エンターテイメント株式会社

保育　保育の売上高（百万円）

既存園の高稼働を維持し、売上高は6.2%増



売上増の要因
■ **英語・運動の独自プログラム**で園の付加価値を向上

充足率（9月末）
96.0%
全国平均 87.7%
+8.3pt 上回る

1園あたり平均園児数（9月末）
18.9人
在籍園児数 614人→623人（33園）
前年同月 18.6人
+0.3人



© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

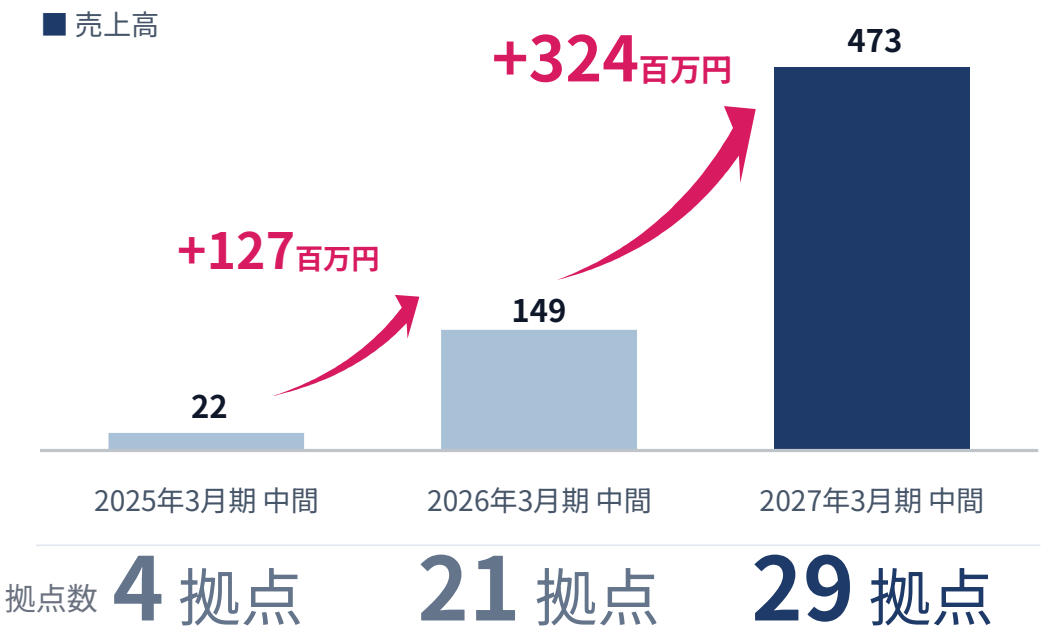
社会課題解決型事業：就労支援

SD エンターテイメント株式会社

就労支援

就労支援の売上高（中間期、百万円）

売上高は2年で約20倍、稼働率62.6%で赤字縮小



稼働率（9月末）

2025年3月期 中間	2026年3月期 中間	2027年3月期 中間
50.8%	55.5%	62.6%
	+4.7pt	+7.1pt

1施設あたり平均在籍人数（9月末）

2025年3月期 中間	2026年3月期 中間	2027年3月期 中間
17.0人	16.0人	22.9人
4施設・68人	21施設・335人	29施設・665人



© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

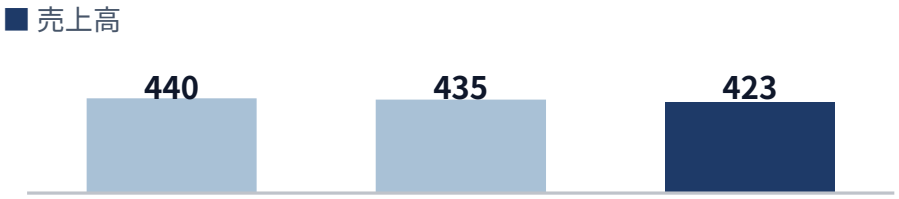
フィットネス事業

SD エンターテイメント株式会社

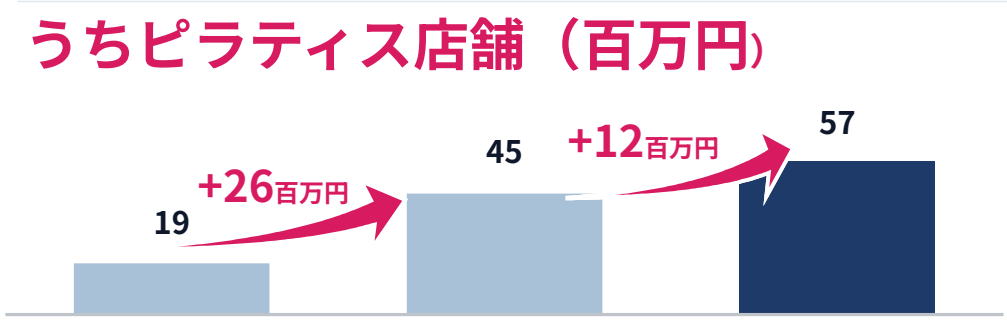
フィットネス

フィットネス事業の売上高（中間期、百万円）

成長性が高いピラティスへの転換を推進中



うちピラティス店舗（百万円）



2025年3月期 中間　2026年3月期 中間　2027年3月期 中間

在籍会員数の前年同月比（各年9月末・既存店）

全体の会員推移

	24年9月	25年9月	26年9月
会員数全体	+5.4%	+5.0%	+0.5%

※ 前年同月比は2023年9月末が起点。店舗数は9月末の営業店舗数
現在営業中の16店舗。ピラティスは新規出店分を含む

ピラティスの会員推移

	24年9月	25年9月	26年9月
ピラティス	+59.3%	+117.4%	+19.9%
ピラティス店舗	3店	7店	7店

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

SD エンターテイメント株式会社

SECTION 04

通期業績見通しと重点施策

01 会社概要

02 上期決算概要

03 セグメント別概況

04 **通期業績見通しと重点施策**

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

通期業績予想に対する進捗

SD エンターテイメント株式会社

通期予想

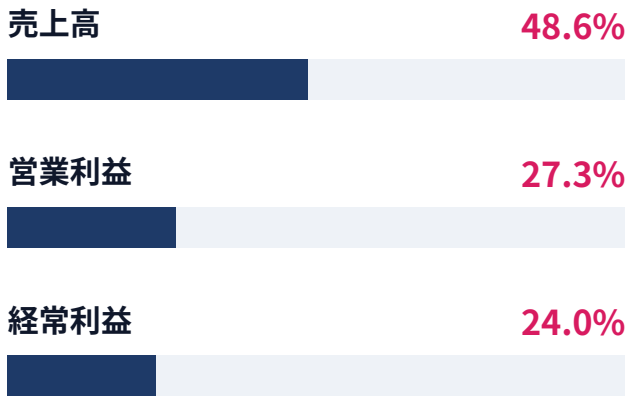
通期業績予想は据え置き（2026年5月14日公表値から変更なし）

売上進捗率50%

項目（百万円）	通期予想	上期実績	進捗率	前期実績（26.3期）
売上高	5,300	2,576	**48.6%**	5,155
営業利益	350	95	**27.3%**	71
経常利益	280	67	**24.0%**	43
親会社株主に帰属する当期純利益	150	△17	—	215

※ 通期業績予想は2026年5月14日公表値から変更なし（決算短信の業績予想も「修正無」）。

進捗率（通期業績予想に対する上期実績）



© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

収益構造（上期・下期）

通期営業利益計画の約7割を下期に計上する収益構造

下期に利益が偏る要因

1

保育の季節性

3月の卒園・退園により4月は園児数が減少。秋（9〜11月）に定員が充足し、追加費用を伴わずに利益が積み上がる。

2

就労支援の立ち上げ

新規開所に伴う費用と立ち上げ期の損失は上期に先行。下期は既存29拠点の稼働率上昇が利益に寄与。

3

固定費の平準発生

人件費・賃料は利用者数にかかわらず発生。売上高が下期に偏るため、下期の利益率が上昇。

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

下期の重点施策

SD エンターテイメント株式会社

下期は新規出店よりも、既存拠点の稼働率と収益性の向上を優先

重点1
事業拡大

就労支援の稼働率向上

上期に7拠点を開設し、全国29拠点体制へ。下期は既存拠点の定着と稼働率向上による投資回収を進める。

重点2
品質と収益性

保育のストック収益とピラティス転換

保育の定員充足率は96.0%（9月末）。付加価値プログラムの外部販売を拡大し、不採算店舗はピラティスへ転換検討。

重点3
財務

営業CFを成長投資と負債削減に配分

上期の営業CFは368百万円（補助金の受取173百万円を含む）。成長投資と有利子負債の削減にバランスよく配分。

事業構造の転換により、業績の安定性が向上。フィットネス事業の縮小は、ピラティス店舗への転換で補う方針。

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.

-免責事項-

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

本資料に記載された将来の業績予想は、資料作成時点で入手している情報と一定の前提に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。詳細は決算短信の「業績予想の適切な利用に関する説明」をご覧ください。

SD エンターテイメント株式会社　証券コード：4650（東証スタンダード）

© 2026 SD ENTERTAINMENT,Inc. All Rights Reserved.